

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成29年度)

施設 の 名 称	ヒルズ県南総合プール(宮城県仙南総合プール)
指 定 管 理 者 の 名 称	セントラルスポーツ株式会社
施 設 所 管 部 課 (室)	教育庁 スポーツ健康課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	陽光セントラル共同企業体	
平成29年 4月 ~ 平成34年 3月	指定管理者	セントラルスポーツ株式会社	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	セントラルスポーツ株式会社
	所在地	東京都中央区新川一丁目21-2
指 定 期 間	平成29年 4月 1日 ~ 平成34年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	ヒルズ県南総合プール(宮城県仙南総合プール)	
所 在 地	柴田郡柴田町大字本船迫字十八津入内	
設 置 年 月	平成11年4月	
根 拠 条 例 等	総合運動場条例	
設 置 目 的	スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	22, 588. 65 m ²
	構 造	鉄筋コンクリート造2階建
	内 容	温水プール、会議室、合宿室、研修室、トレーニングルーム
開 館 (所) 日	休館日(水曜日、12月29日から1月3日まで)を除く毎日	
開 館 (所) 時 間	平 日 午前9時から午後9時まで 日・祝日 午前11時から午後7時まで	
指 定 管 理 者 が 行 っ てる 業 務 の 範 囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の収受に関する業務 3 施設の使用の制限及び入場の拒否等に関する業務 4 施設の機械設備の操作・日常点検業務 5 施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 6 その他施設の管理運営業務に関して宮城県教育委員会が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	施設利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
開館(所)日数	297 日	308 日	297 日	100.0%	96.4%
延べ利用者数	60,900 人	60,826 人	61,093 人	100.3%	100.4%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
プール利用者	49,500 人	43,590 人	50,456 人	101.9%	115.8%
トレーニングジム利用者	11,350 人	17,175 人	10,579 人	93.2%	61.6%
会議室利用者	50 人	61 人	58 人	116.0%	95.1%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	60,900 人	60,826 人	61,093 人	100.3%	100.4%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
県指定管理料	33,000	32,311	33,000	100.0%	102.1%
利用料金収入	7,631	9,268	9,046	118.5%	97.6%
その他	35,845	35,443	18,933	52.8%	53.4%
収入計 (a)	76,476	77,022	60,979	79.7%	79.2%

(2) 支出

人件費	19,016	17,852	17,620	92.7%	98.7%
施設管理費	37,214	33,568	33,291	89.5%	99.2%
事業運営費	4,718	2,183	2,581	54.7%	118.2%
その他	15,528	23,463	7,487	48.2%	31.9%
支出計 (b)	76,476	77,066	60,979	79.7%	79.1%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-44	0	#DIV/0!	0.0%
前期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
次期繰越収支差額	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成29年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の安全を第一に全てのスタッフが事故がないよう利用者対応を致しました。スポーツを通じて地域の皆様の健康保持増進に貢献致しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 弊社独自にて指定管理者として初年度事故も無く無事終了する事が出来ました。年度の切り替わり時、保守点検の為10日程プールを休館致しましたが、さほど影響も無く安全に管理運営をする事が出来ました。 		S	<p>適切な人員配置のもと、来場者の立場で対応する等事業計画に沿った管理運営が行われている。</p>	A
人員体制	正規	7人	非正規	12人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検を中心に施設・設備の維持管理に努めると共に、日々の始業終業時にも目視による管理点検に努めました。 		<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備機器の安全確認の為、予防保全策として日々、目視による点検を実施致した事により、大規模な修繕を未然に防ぐ事が出来ました。 		S	<p>施設設備の自主点検を定期的に行い、修繕必要箇所の早期発見により、修繕費用の節減に努めている。</p>	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業参加者ではない、一般利用のお客様へのアドバイス並びに無料プログラム参加の案内を行いました。 		<ul style="list-style-type: none"> 個々に対応した利用方法を提案し利用促進を図りました。 利用者スタッフ間のコミュニケーションは良くとれて、ご利用者の目的や目標にかなうソフトの提供が出来たと思います。 		S	<p>自主事業参加者のみならず、一般利用者に対してもきめ細かな対応が見られる。利用者とのコミュニケーションにより、積極的なニーズの把握に努めている。</p>	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 中学生以上を対象にしたトレーニングジム、及びジュニアスイミング、バレー、チアダンス、ヒップホップの各スクールを継続実施致しました。 ジュニアスイミングにおいてはお試し体験も同時に実施致しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 子供から大人まで様々なスクール等を提供することで多様なニーズに対応が出来たと思います。 		S	<p>子供から大人まで幅広いスクール等を提供しており、利用者のニーズに沿った事業を展開している。</p>	S
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第3日曜日の施設無料解放の実施。 トレーニングジムにて初回トレーニング講習を実施。 3ヶ月毎、スタジオプログラム、及びスイムプログラムを見直しを実施。 施設パンフレットの配布及びセントラルスポーツのホームページへ掲出。 		<ul style="list-style-type: none"> 無料解放日を設ける事で健康の保持増進のきっかけの場を提供する事が出来たと思います。 適切なマシンの使用方法及びトレーニング方法をご案内する事で未然に怪我等を防止する事が出来たと思います。 		S	<p>施設の無料開放日を設けることにより、新規利用者の開拓や既存利用者へのサービス向上を図っている。また、適切なマシンの使用方法やトレーニング方法を案内し利便性の向上につなげている。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> 施設、運営等について様々なご意見をいただきました。 		<ul style="list-style-type: none"> 苦情については真摯に受けとめ改善に努めて参りました。 要望等につきましては、日々のミーティング等で情報を共有し、出来る限り迅速に対応してまいりました。 		S	<p>要望については、職員間で情報の共有化をはかり、早期の対応に努めている。</p>	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のCPR・AED操作、応急処置についての研修実施。 法令に基づく設備点検の実施 防火及び避難訓練の実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 毎月のCPR研修時にはAED練習機を用いた様々な状況設定の下、研修を実施致しました。 		S	<p>防火訓練の実施、CPR(心肺蘇生法)研修を毎月実施し、スタッフの心肺蘇生技術水準を確保し、安全対策に努めている。</p>	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 柴田町スポーツ振興課及び教育総務課より依頼等、適時対応に努めて参りました。 インターネット上での、施設案内の掲出。 		<ul style="list-style-type: none"> ホームページについては、定期的に掲載内容の見直しを行い、適正化に努めております。 		S	<p>ホームページでの掲載のほか、柴田町と連携を図り、町内居住者を中心とした幅広い利用促進を図っている。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	県の評価 【施設所管課記入】		
			評価	評価	
⑨個人情報の保護	・個人情報の管理については、施設長を管理責任者とし、適切に取扱いました。また、全スタッフに対し個人情報保護に関する研修を実施致しました。	・個人情報関連の研修や管理方法の確認を定期的に行っており、受付窓口では『お客様から頂く個人情報の取扱について』の案内文をもって個人情報の保護に努めました。	S	個人情報保護研修の実施、管理責任者の明確化を行い、情報の漏えい、き損の防止に努めた。	A
⑩利用実績	・前記『4管理運営収支実績』の通り。	・計画対比 + 193人(100.3%) ・前年対比 + 267人(100.4%)	A	インターハイによる長期休館があったが、大きな影響はなく、利用者数は、対前年より増加した。	S
⑪収支実績	・前記『5管理運営収支実績』の通り。	・計画比 ± 0 ・前年比 + 44千円	S	利用料金収入は減収となったが、経費節減の努力が見られ、前年度より改善された。	A
⑫その他の取組	・柴田町事業水中運動教室への協力。 ・柴田町、県立柴田高校、柴田町立各中学校への会場提供。 ・柴田町内サクルの貸切利用。	・柴田町事業の水中運動教室への協力、また近隣学校の部活動、水泳授業として当施設を活用して頂き、地域の方々へ貢献することが出来ました。	S	地元柴田町の事業に協力し、地域活動に参加するなど、地域住民にも開かれた施設として積極的にPRしている。	A
総合評価		地域住民の健康保持増進並びに子供達の健やかな発育発達に寄与すると共に、安全管理に努めて参りました。運営面や施設面での各種問題を是正・解決し、大きな事故・怪我もなく、管理運営をする事が出来ました。	S	利用者の立場に立ったきめ細かな施設運営を心がけている。無料開放日などの利用促進策の工夫も見られており、健康増進施設として地域へ貢献している。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	・施設各所において経年劣化している箇所が年々増加しております。施設を利用されるお客様の利便性を優先しながら計画的に修繕をしていく必要があります。	施設の本来の目的である水球利用の促進について、一般利用とのバランスを考慮のうえ、積極的に大会や合宿の誘致を行う必要がある。 施設開設から19年が経過し、施設各所が劣化していることから、安全性や費用対効果を考慮しながら計画的に修繕を行う必要がある。

別掲 自主事業収支実績(仙南)

(単位:千円, %)					
(1) 収入					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
自主事業収入	34,345	34,183	33,930	98.8%	0.1%
その他	1,500	1,260	1,461	97.4%	0.1%
収入計 (a)	35,845	35,443	35,391	98.7%	0.1%
(2) 支出					
人件費	7,655	17,553	14,868	194.2%	0.1%
事業運営費	5,943	5,043	5,018	84.4%	0.1%
販売品仕入	1,200	532	563	46.9%	0.1%
諸経費	730	335	794	108.8%	0.2%
支出計 (b)	15,528	23,463	21,243	136.8%	0.1%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	20,317	11,979	14,148	69.6%	0.1%